

ぶどう組 懇談会だより

令和2年5月15日

●年間目標

1. 健康的で安全な環境を作って一人一人の欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る
2. 生活に必要な基本的生活習慣を自ら行う
3. いろいろなことに興味・関心を持ち自らやってみようとする

【1についての取り組み】

一人一人の子どもたちの“やりたい遊び”を重要視して自由時間には沢山遊びを楽しむことができるように、保育室や園庭の環境を考えています。子どもたちの自主性・考える力を念頭に置き大切にしておくために帰りの会ではその日起きたことを話しています。楽しかったことだけでなく、危険であったことを子どもたちと話し合いをしながら「何が危ないのか」を理解し、怪我をしないためにはどうしたらいいのかを考え相談し気づきに変えていきたいと思えます。

情緒の安定では、一人一人が自分の安心できる場所を作り、保育園での生活を居心地がいいものとして確立できるように、子どもたちと一緒にコーナー作りや、遊びの中で保育士との信頼関係など作っているように取り組んでいます。

【2についての取り組み】

身の回りのこと、衣服の着脱や食事、排泄など段々と一人で行える子が増えてきています。しかし時には遊びたい気持ちが優先してしまい、帰りの支度の仕方が雑になってしまうことがあるので、丁寧な荷物のしまい方・タオルの畳み方なども、子どもたちと一緒に行っていきたいと思えます。また、食事ではバランスよく食事をすることの重要性。姿勢や食事マナーなど、子どもたちと再確認をしながら、楽しく美味しく食べられるように取り組んでいます。その際には、食育活動や、実際に食べ物に触れて、どうやって育ったのか、誰が作っているかなど疑問から子どもの興味・好奇心に呼び掛け、関心を持つことによって、食事をバランスよく食べられることをねらいとしていきます。

【3についての取り組み】

ぶどう組では一人一人の遊びに寄り添い、興味・関心のある事をたっぷり遊び込める環境を整えています。例として、部屋におままごとコーナーを作り、より深く遊び込めるようにしたり、制作のコーナーでは様々な素材を用意したりと、制作がより楽しくなるような環境設定を整えています。遊んでいるお友達の姿を見て新しい遊びにも興味を持ち、遊びの幅が広がっていく楽しさを感じてほしいと思えます。また、遊びの幅に限らず様々なことに興味・関心を持ってほしいという思いから、ぶどう組ではグループ名をつけた机にいつも同じ五人のお友だちが座って、今後は様々な活動を行っていきたくて考えています。普段あまり遊ばないお友達とも同じグループになったことをきっかけに関係性を深め、お友だちと一緒に色々なことにチャレンジをして、たくさんの違った考え方があることを知る中で協調性を育て

いきたいと思います。

●子どもの様子

感染症の影響のため登園日数が少なくなってしまう子もいましたが、ぶどう組に進級しお兄さん・お姉さんの意識が強くなってきている様子も見られます。「小さい子に教えてあげる」と靴の履き方や遊び方を教えている姿が見られ、子どもたちの成長を感じられるようになりました。年下の子のお世話をしたいという気持ちが4歳児では少しずつ芽生え始める時期ということもあり、乳児クラスの子との交流や遊び、虫や植物を飼いお世話をするなど、子どもたちがまだしたことのない経験がたくさんできるようになっています。

食事面では箸の使い方や食器の置き方を自分で並べる練習をしています。5歳児クラスの子の姿を見たり先生のお話を聞き自分で気が付いたり、子どもたち一人一人が自分のペースで頑張っています。

苦手な野菜などは子どもたちと相談しながら事前に少し減らし、無理なく食事は進めています。

感染症が落ち着きましたら、またみんなで過ごせることを楽しみにしています。

●お願い・お知らせ

- ・子どもたちがお支度やお着替えを自分で行います。入れ間違えを防ぐため、持ち物には必ず記名をお願いいたします。
- ・今後は気温が高くなり、着替えをする回数も増えます。また、汚れたときに着替えが無いと、お子さまが困ってしまいますので、ロッカーの中の洋服の補充をお子様と一緒にお願いいたします。
- ・爪が伸びていると自分や相手の肌を傷つけてしまったり、遊びの妨げになってしまったりとトラブルや怪我の原因になりますので、こまめに切るようお願いいたします。